

JALIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2026.Mar Vol.55

Presented by 株式会社ジェイック



【アンケート調査】

27卒「志望度が高まる インターンシップの特徴」

【アンケート調査】

27卒「志望度が高まる インターンシップの特徴」

株式会社ジェイックは、2027年卒業予定のインターンシップへの参加経験を持つ学生を対象に実施した、「志望度が高まるインターンシップの特徴」※に関するアンケート調査の結果を発表します。

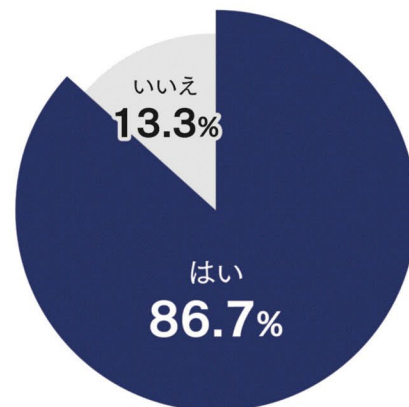
(回答者105名、調査期間2025年6月29日～2026年1月22日)

※本調査における「インターンシップ」とは、オープン・カンパニーや短期・長期の就業体験など、学生が会社や仕事を知るために参加する、企業主催のプログラムを総括したものを指します。

インターンシップ参加をきっかけに「**志望度が高まった**」が8割超

「インターンシップに参加したことで、
志望度が高まった企業はありましたか？」

と質問したところ、インターンシップに参加した学生の8割以上が、参加後に企業への志望度が高まった経験があることがわかりました。多くの学生にとってインターンシップは、企業理解を深めるだけでなく、**志望企業を見極める重要な場**であることがうかがえます。

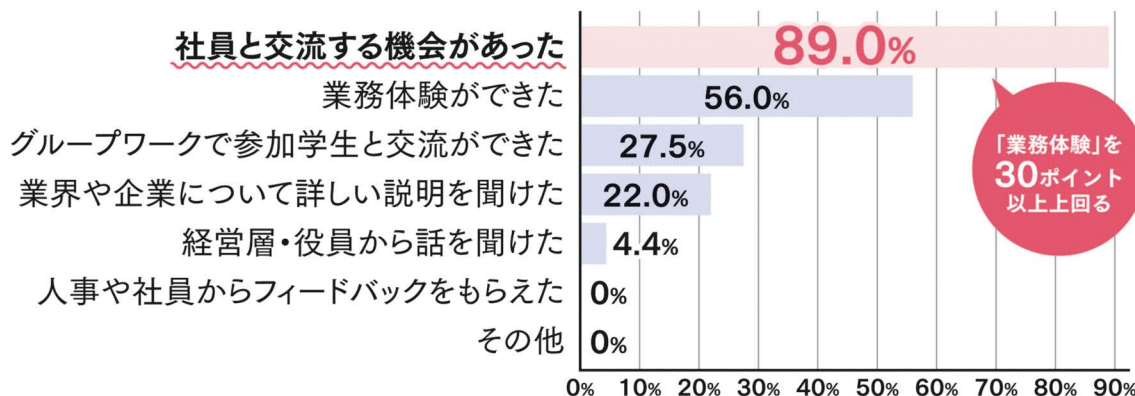


志望度向上の要因は「**社員との交流**」が約9割

インターンシップを通じて「志望度が高まった」と回答した学生に、

「**志望度が高まったインターンシップの特徴として、あてはまるものをふたつ選択してください**」

と質問したところ、「社員と交流する機会があった」は、2位の「業務体験ができた」を30ポイント以上上回る結果となりました。業務内容そのもの以上に、**現場社員と直接関わることで得られる“人”の情報が**、志望度に大きな影響を与えていることがうかがえます。

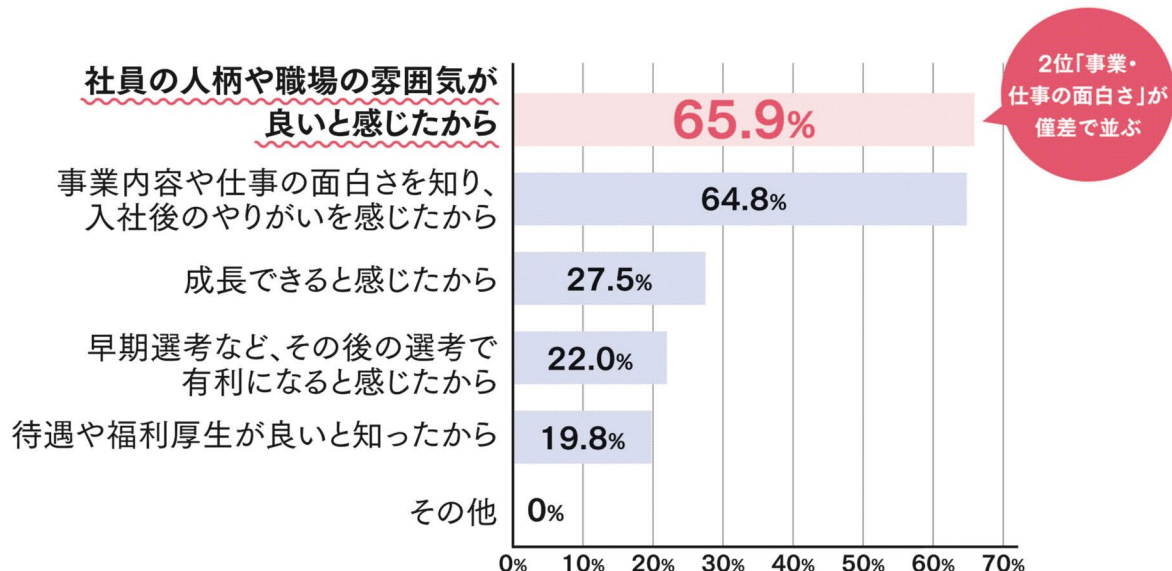


志望度が高まった理由は「社員の人柄・雰囲気」や「事業・仕事の面白さ」

インターンシップを通じて「志望度が高まった」と回答した学生に、

「志望度が高まった理由として、あてはまるものをふたつ選択してください」

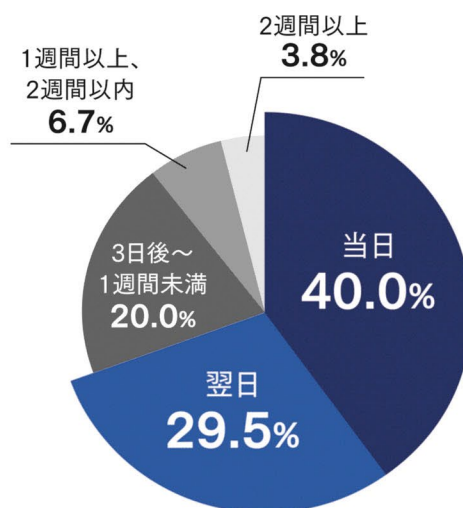
と質問したところ、1位の「社員の人柄や職場の雰囲気が良いと感じたから」と、2位の「事業内容や仕事の面白さを知り、入社後のやりがいを感じたから」が僅差の結果となり、学生は仕事内容と同時に、**社員の価値観や職場の空気感を重視し、「自分がその環境で働く姿を具体的に想像できるか」**が志望度を高める鍵になっていることが読み取れます。



インターンシップ後の企業からの連絡は「当日・翌日を希望」が約7割

「インターンシップ参加後、企業からの今後の選考スケジュールなどに関して、連絡を受けたいタイミングを教えてください」

と質問したところ、「当日」と「翌日」を合わせると約7割の学生が参加直後の早いタイミングでの連絡を求めていることがわかりました。



今回の調査から、インターンシップへの参加経験を持つ2027年卒予定の学生の約9割が、インターンシップ参加後に企業への志望度が高まっている経験があることがわかりました。志望度向上の要因として『社員との交流』が『業務体験』を上回っており、学生は仕事内容だけでなく、**社員の人柄や職場の雰囲気といった“組織のリアル”を重視**していることがうかがえます。また、約7割がインターンシップ後『当日・翌日』の連絡を希望しており、迅速な連絡が、企業への期待感や誠実さの判断材料になっている実態が浮き彫りになりました。

Q. 企業から連絡を受けたいタイミングの理由を教えてください

(自由記述・一部抜粋)

当日

- スピーディな方が企業側の意欲を感じやすく、即日のほうが志望度が高まると思う
- 即日の方が、今後のスケジュールの組み立てがしやすい
- 早ければ早いほど次のアクションの決定を迅速にすることができる
- 話を聞いた直後のほうが内容を詳しく覚えているため判断しやすい
- なんとなくその場で伝えてほしい。質問などが対面でできるから

翌日

- 記憶が新しいうちに連絡を受けたほうが、積極的に参加したいと思える
- 忘れないうちに教えてほしいが、当日だと情報がパンクしそう
- インターンシップでの経験が新鮮なうちに、次の選考への決断ができる
- フィードバックなどは早いうちに得られたほうが今後に活かしやすい

3日後～1週間未満

- 記憶が新しいうちにじっくり考えられる期間であり、かつ日程調整もしやすい
- 当日や翌日は遠方からの移動がある場合もあるため、それらを除いた最速のタイミング
- 一度自分の中で内容を整理したい。少し休んだ後に考えたい

1週間以上、2週間以内

- インターンシップが終わった後は、内容をまとめたり自己分析をしたりする時間が欲しい
- 様々な企業を調べた上で、その連絡について検討したい

2週間以上

- 自分で整理する時間がほしい
- 様々な企業を、時間をかけて調べた上で連絡の返事をしたい

2027年卒業予定の学生を対象とした最新の調査では、インターンシップ参加をきっかけに8割超えの学生が企業への志望度が高まったことがあるということが明らかになりました。特に志望度向上の要因として、業務体験以上に「社員との交流」が約9割もの学生に支持されており、現場の空気感や人柄といった**組織のリアルに触れることが、入社後のやりがい**を想像する鍵となっています。この学生動向を踏まえ、学生の抱く直感的な好感を自己理解へと結びつける「言語化支援」が求められます。面談を通じて「社員のどの言葉に共感したのか」「なぜその環境であれば自分が活躍できそうだと感じたのか」といった問いかけを行い、感覚

を言語化させることで、**ミスマッチのない本質的な志望動機**へと昇華させることが重要です。

また、学生の約7割が参加後「当日・翌日」の迅速な連絡を希望しており、対応の早さを企業の熱意や誠実さを測る指標としている実態があります。一方で、連絡が遅い場合でも、選考プロセスの慎重さや企業規模による体制の違いなど、多様な背景があることを学生に伝える必要もあります。企業の初動だけで判断せず、その後の対応を含めて総合的に見極める眼を養わせることが、**学生の焦りによる離脱を防ぎ、納得感のある進路決定を支える一歩**となるでしょう。

新4年生の春から夏：納得のいく進路決定に向けた就職支援プログラムのご提案

ジェイックのイベントは、『就活のスタートが遅れてしまった』『教育実習や部活でこれから本格的に動く』『選考が進まず、もう一度やり直したい』といった焦りを抱える学生にとって、**事前研修+面接会**という実践の場で『面接経験』を積み、『自分の現在地』を知り、『次のステップへのヒント』を得られる、総合的な成長機会を提供しています。具体的には以下のようなプログラムとなっております。

「Web面接会」プログラムとは？



これまで全国176校(2025年6月時点)の大学でご活用いただいている学生の就職活動をサポートするプログラムです。本プログラムは以下の流れで進みます。

1. ガイダンス～事前研修で就活対策

就職活動に必要な知識やスキルを習得するためのガイダンスと事前研修を実施します。

2. Web面接会

書類選考なしで約10社の企業との面接会を実施し、学生に多くの出会いの場を提供します。

3. 個別アドバイザーによる支援

学生一人ひとりに専属のアドバイザーがつき、就職活動をきめ細やかにサポートします。

また、学生の問い合わせやアクションを促進するため、マーケティング手法を用いたハガキや案内メールの作成もサポートさせていただきます。貴校のご要望に合わせてプログラムをカスタマイズできますので、お気軽にご相談ください。今後のイベント開催情報をメールでも発信していきますので、ぜひQRよりご登録ください。

メール登録はこちらから



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRからご回答をお願いいたします。



運営会社(お問い合わせ先):
株式会社ジェイック新卒カレッジ事業部
東京都千代田区神田神保町1-101神保町101ビル6階(受付)
TEL 03-5282-7603 ■ daigaku@jaic-g.com